

# さつま 議会だより

平成26年11月6日発行

No.39



|                    |     |
|--------------------|-----|
| 補正予算の概要・・・・・・・・・・  | 2P  |
| 条例等の概要・・・・・・・・・・   | 4P  |
| 常任委員会審査の概要・・・・・・・・ | 5P  |
| 一般質問(9人)・・・・・・・・・・ | 7P  |
| 8月臨時会、陳情・・・・・・・・・・ | 11P |
| 議会活動、編集後記・・・・・・・・  | 12P |

もち米の収穫体験、台風18号・19号で倒伏したけど力を合わせて刈り取るぞ!(10月20日撮影)



# 9月定例会の あらまし



平成26年第3回(9月)定例会は、9月9日から9月30日までの22日間の会期で開かれました。条例の制定・改正、各会計の補正予算などを慎重に審議し、提案された議案すべてを可決しました。

## 《表紙紹介》

10月20日中津川小学校5・6年生児童による学習田の稲刈りが行われました。学校応援団の「諏訪親代」さんから、鎌を使った稲刈りの指導を受けました。

## ◆平成26年度9月補正◆

| 会 計 名        | 補 正 額     | 補正後の予算総額    |
|--------------|-----------|-------------|
| 一 般 会 計      | 5億4,063万円 | 133億3,337万円 |
| 国民健康保険事業特別会計 | 150万円     | 33億3,331万円  |
| 介護保険事業特別会計   | 987万円     | 32億6,085万円  |

※一般会計は第3号の補正額

※国民健康保険事業特別会計は第1号補正額

※介護保険事業特別会計は第2号補正額

# 補正予算

～今後の事業展開を探る～

クリーンセンターのストックヤード新設工事は、平成26年度の当初予算において、1900万円の予算を計上してありますが、最近の資材の高騰、設計基準における公共単価の上昇及び杭打ち工事が必要となったため、不足分の予算を追加計上するものです。

## ストックヤード新設工事

600万円

### ■質疑■

当初の計画になかった杭打ち工事をなぜ実施する必要があるのか。当初で見積もるべきではなかったか。

### ■回答■

実施設計を進めていく中において、地盤補強の必要性が生じたため、杭打ち工事を追加実施することになったものである。

## 救急医療医師確保支援事業費

360万円

薩摩郡医師会病院において、新たに医師1名を採用したため、救急医療医師確保支援事業による支援を行うもので、平成26年7月の採用月から翌年3月までの9カ月分、360万円を補助するものです。



二次救急医療機関の薩摩郡医師会病院

## 薩摩農産物加工センター 管理費 3464万円

薩摩西郷梅のブランド化と薩摩西郷梅生産組合員の所得向上を図ることを目的に、これまでの原材料としてだけの供給でなく、生産から販売までの過程を完結させるために商品製造施設を整備するものです。

これまで年間約10トの製品販売だったものを段階的に約100トまで拡大する計画です。



施設の現地調査を行う文教経済常任委員

## 商工業新規参入者支援事業 150万円

新規参入者の対象年齢を40歳未満から55歳未満までに改正することで、商工業参入者の充実を図ることを目的に、当初予算での不足額150万円が計上されています。

■質疑■  
後継者祝金が本年度をもって廃止の予定であるが、町長の見解は。

■町長答弁■

時代の変遷に則した効果的な補助金のあり方を検討すべきと考え、この後継者祝金については平成26年度で廃止し、次のステップでの対応を図っていききたい。

## 薩摩中央高等学校振興対策 補助 債務負担行為

生徒確保のための補助金を平成27年度から新たに設定しようとするものであり、具体的な金額が確定していないため「限度額に同じ」の文章表現で設定されています。

■質疑■  
現在の中学3年生や保護者、進路指導の担当教諭に対するアンケートなどを実施しているのか。

■回答■  
アンケート等については、実施をしていないが、町としては、高校振興対策協議会で協議を実施しており、意見を集約している。

## 鶴田武道館管理費 2300万円

鶴田武道館については、建築後20年以上が経過し、これまで必要に応じて随時改修等を行ってきたが、経年劣化に伴う屋根の傷みがひどく、今後本体内部への影響も懸念されることから、現在の石綿板葺きの屋根から金属葺きの屋根に張り替えるものです。



施設の現地調査を行う文教経済常任委員

## 竹林整備支援事業補助260万円 補助額を2円に引き上げ

パルプ用竹材の買い取り価格に係る上乘せの補助額をこれまでの1円から2円に引き上げるものです。

昨年度の実績を目安に260ト分が計上されており、これにより買い取り価格は1キログラム当たり9円70銭になるものです。



整備が進められる竹林

## 集出荷貯蔵施設整備事業補助 6840万円

鹿児島県産地総合対策事業（県の補助事業）に取り組むもので、財源は県支出金になります。事業主体はJA北さつまで、平成11年度で佐志の野菜選果場に整備したトマト選果機が耐用年数を経過、故障等もあり、最新式の選果システムに更新するものです。



JA北さつま野菜集出荷所(佐志区)



# 条例等

～我が町の法規を探る～

## いじめ対策専門委員会条例の制定

いじめ防止対策に関する審議並びに重大事態が発生した場合の事実関係を明確にするための調査を行う組織を設置するために制定されるものです。

この専門委員会は、いじめ問題に関する重大事態が発生した場合のほかに、学識を有する専門委員としての立場から、意見や助言等をいただくために、年に一、二回程度の開催を計画しています。

## ■質疑■

専門委員会の構成委員が弁護士や医師等であることなどから日程調整等も難しいと想定される。必要に応じて開催するやり方で良いのではないかと。

## ■回答■

今回初めて設置される委員会であることから、開催の方法や運営等については今後検討を重ね、近隣市町との連携を図りながら、歩調を合わせていきたい。

## 地域型保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

子ども子育て支援法の施行に伴い、その事業を推進するために必要とされる基準等を定めるものです。

今回の新たな制度においては、市町村の認可により実施できる「地域型保育事業」として新たに4つの事業を設け、子育て世代からの要望に応じながら事業を実施しようとするものです。

## 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定

子ども子育て支援法に基づき特定教育保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定めるものです。

これは、「さつま町地域型保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例」の制定に伴う新たな制度の中で、事業所が給付を受けるために必要とされる基準や確認の根拠となる規定を定めようとするものです。

## 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

児童福祉法の規定に基づいて、保護者が昼間不在である児童等に対して適切なあそび、生活の場を与えながら健全な育成を図るために必要な学童保育の設備及び運営に関する事項について定めるものです。

## 手数料徴収条例の一部改正

地籍集成図等の交付手数料を適正な額に改正するものです。

住宅用家屋証明申請手数料については、現在1件当たり800円ですが、これを他の自治体に合わせて1300円に改めるものです。

県内の状況については、1300円の自治体が約9割を占めているため、本町も同じ水準に改めようとするものです。

## 《その他の議案》

### 国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

補正額150万円は、保険給付費及び諸支出金の保険税還付金、還付加算金等所要の経費を補正するものです。

### 介護保険事業別会計補正予算(第2号)

補正額987万円は、地域支援事業と平成25年度精算分に係る一般会計への繰出金です。

#### 【地域支援事業】

高齢者元気度アップ地域包括ケア推進事業

1団体、年間12万円を上限に支援するもので、地域での見守り活動等に対して、その活動費用を補助するものです。

この制度については、広報紙や説明会等で広く住民に周知する計画であり、この事業を地域の支え合いや社会活動の推進のために、積極的に活用するものです。

## 土地改良事業の施行について

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金による土地改良事業として、基盤整備、農業用道路の土地改良事業を施行しようとするものです。

【地区名】  
湯田原地区

【施行場所】  
湯田・鶴田地区

【事業年度】  
平成27年度～平成30年度



文教経済常任委員会による現地調査

# 常任委員会審査

委員会審査の中で出された質疑、意見などの主な事項を掲載してあります

## 総務厚生常任委員会

地域型保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定

国は待機児童の解消のため、このような新制度をつくったと思うが、今回の新たな制度による事業がはじまった場合、その利用者数を推定できているか。

■回答■

全国では待機児童が多い現状にあり、無認可保育園等を制度の対象として認定し受入れ体制を拡充するねらいがある。

本町は待機児童はいない状況であるが、この制度を利用される保護者や事業者があつた場合のために条例を制定し環境を整えるものである。

手数料徴収条例の一部改正

■質疑■

住宅用家屋証明手数料の改正については、住民サービスを考えれば、今まで800円であつた手数料を、他市町村と同じ1300円に合わせる必要があるのか。

■回答■

金額にすると交付手数料の増額分は、年間約2万円ほどで、殆どは司法書士等からの申請になる。しかし、最終的に負担されるのは町民の方々であり申し訳ないと考えるがご理解いただきたい。

この条例が可決された場合には、それぞれの司法書士等にも文書で通知し、また、町民への周知を含め窓口の方にもその旨を掲示することにしていくところである。

一般会計補正予算(第3号)

■質疑■

10周年記念関係で、謝金の中に10万円ほどは特別表彰に充てると説明されたが、これは現在の表彰規定で行うのか。

■回答■

町民表彰規定の選考基準に準じた表彰の具申を行つて、決定していただくものである。

■質疑■

災害対策費で時間外手当が500万円計上されたが、時間外勤務を行った職員で一番多い人は何時間くらいだったのか。

■回答■

今回の台風への対応は時間別に見ると3時間、4時間の対応が多く最大8時間の勤務となった。また、土日になった場合は振替休日を基本に対応している。

■質疑■

医師確保の支援事業で1名確保されたということであるが、診療科目と週の勤務形態は。

■回答■

今回採用となつた医師であるが、診療科目は呼吸器が専門で呼吸器内科部長として勤務をしていただいている。

勤務形態については、常勤医の採用ということであるので、フルタイム勤務となる。

介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

■質疑■

新規の事業として、元気高齢者の活動補助が計上されているが、最終的に事故等が起きた場合の責任の所在を明確にする必要はないか。

■回答■

地域での活動については、公民館等が主催される場合は、各公民館の方で保険等に加入されることもあると思うが、元気高齢者の社会参加活動を推進するためのポイント事業であり、今回の事業推進に当たっては、互助に基づいたそれぞれの責任に基づく活動ということでは捉えている。

また過度な負担や危険を伴うような活動については、十分に留意をしていただくようお願いしたい。皆さんの活動が元気な地域づくりにつながるようにご尽力をいただきたい。



郡医師会病院の待合室の様子

# 文教経済常任委員会

## いじめ対策専門委員会条例の制定

### ■質疑■

今回、新たに専門委員会が設置されるまで、いじめ対策はどのように対応してきたのか。

### ■回答■

滋賀県大津市でのいじめ問題に関する自殺事件を受けて、このような委員会が県、市町村で設置されることとなった。

これまでは、このような事案が起きた場合は、学校の中で検討して、教育委員会が報告を受けて動いてきたが、それでは第3者の意見が学校にも入りにくく、教育委員会の調査についても、学校寄りではないのかという批判等もあった。

今回このような第3者の立場の専門委員会を設置して、公平、中立に進めるものである。

### ■質疑■

先ずは、この専門委員会が開催されるような重大事態を発生させないことが大切である。

### ■回答■

いじめ問題対策連絡協議会の充実が必要と考え、専門委員会と協議会の連携は。

### ■回答■

いじめ問題対策連絡協議会では、いじめ防止に向け各学校ではどのような取り組みをしているのか、学校それぞれの実態はどうなのかについて協議し、対策等を話し合う組織である。

一方、専門委員会は、いじめ防止対策について専門的な立場から審議したり、重大事態が起きた際に調査を行ったりする上部機関である。

## 一般会計補正予算(第3号)

### ■質疑■

内水排水ポンプ設置に係る借上料の予算計上の理由と排水ポンプのこれまでの稼働状況は。

### ■回答■

7月9日の台風8号及び8月7日の台風11号接近時にダンプと発電機を設置し、既定予算を執行したこと、今後の見込み分として計上した。また、排水ポンプの稼働



内水排水ポンプの設置状況(虎居区)

### ◆意見◆

については、この予算とは異なるが、山崎地区において長期リースによる排水ポンプの稼働を行っている。

近年は想定できない集中豪雨等により甚大な災害も発生していることから、住民の不安を解消するための予算措置については万全を期してもらいたい。

### ■質疑■

3棟の簡易牛舎等設置事業を導入することで、何頭の増頭が見込めるのか。

### ■回答■

当初で3棟分150万円を計上したが、その後の事業要望に対して不足する3棟分を追加計上した。

今回の補正分3棟については、5年後の目標で合計46頭の増頭を見込んでいる。



県畜産共進会審査会の状況

### ■質疑■

各種大会出場補助には豪雨のため野球の試合ができなかった団体への補助金も含まれているが、この経緯は。

### ■回答■

補助金交付要綱の中では、このような事案に係る交付の規定はないが、団体とされては、実際に開催地に出向き交通費等も支出されており、試合当日に主催者側の判断で中止となったことから補助金の交付については妥当であると判断したものである。

## 土地改良事業の施行について

### ■質疑■

本事業の受益地は畑地で、全体的にまだ広く改良が進められるべきと思うが、受益面積を農道沿線に限定されたのは、事業の施策によるものか。

### ■回答■

農山漁村プロジェクト交付金事業を実施するとき、活性化計画の作成が必要となる。

活性化計画のエリアは43.8haあるが、本事業で計画している農業用道路1185mの受益地は農道沿いの直接出入りする農地9.2haであり、1億2000万円の事業費を考えている。

仮に、事業費に変動があった場合は計画変更もあり得るが、現時点ではこの計画で進めることになる。



# 一般質問

一般質問関係の記事は、各議員から提出された原稿を基に、質問議員の責任において掲載してあります。



岸良 光廣議員

## 子育て支援

### 現在の学童保育は十分か

#### 町長／関係機関との検証を実施

岸良

健全な学童保育を行う上で人・建屋のスペースは十分であるか。もし十分でないなら今後の考えを伺う。

町長

今後は利用時間の延長や鶴田地域への設置の検討に加え、学校再編による対象児童増加の対応を含め、子ども子育て会議における検討や教育委員会等関係機関との連携を図り、事業の検討を行い、内容の充実を図る。



盈進小学校内の1室で行われている学童保育

### 現在の定住策で十分か

#### 町長／更なる取り組みに着手

岸良

急速な人口減少に伴って町として定住策に取り組んでおられるが、定住策を進める上でどのような目標を立てておられるのか。

町長

今年、日本創生会議人口減少検討会議が出した消滅可能性自治体896市町村の中にさつま町も入ったことから、人口対策についてプロジェクトチームを設置して今後の更なる取り組みに着手したところである。

## 地域政策

### 地域活性化対策について

#### 町長／検討を進めてゆく



新改 秀作議員

新改

過疎高齢化が進む中、地域の支援策として、集落支援員及び地域おこし協力隊の導入は考えられないか。

町長

周辺地域活性化対策事業に本年度から取り組み、地域元気再生事業とともに進めているところである。地域が元気で、安心・安全に暮らせるために、今後も地域の理解を得ながら、少子高齢化及び定住促進事業等も含めて関係各課で更に協議・検討を進める。



排水対策が望まれるグラウンド（柏原小学校）

### 学校施設等の整備・管理

#### 町長／計画的な整備を進める

新改

老朽化した校舎の整備・グラウンドの排水対策及び敷地整備・夏場の高温対策・校長教頭住宅の今後の整備計画は。

町長

築25年以上経過した小学校が11校、中学校が3校ある。耐震化工事が本年度で完了するので、今後の統廃合を視野に、敷地の整備も含めて排水対策及び高温対策も進め、また校長・教頭住宅整備も検討し、適切な管理を進める。

## 合併検証

# 合併効果の検証を

## 町長／総合的な検証を行う



上久保 澄雄議員

**上久保**  
合併後10年を迎えるに  
当り、その結果をどう評  
価しているか。検証は町  
民の考えも参考に検証す  
べきと思うが見解を問う。

**町長**

主要財政指標の好転は  
一定の成果であり、広域  
化による公共施設等に係  
る諸問題は課題の一つと  
考えている。今後第二次  
総合振興計画策定に当つ  
ては、合併の検証は重要  
であり、町民・各関係機  
関からの意見を聞いてい  
く。



指定管理施設  
(観音滝公園「滝の宿」)

## 財産の利活用と 住宅整備

### 町長／健全な管理 運営に努める

**上久保**

指定管理者制度の実績  
及び、未利用財産の処分  
に対する考え方並びに、  
町営住宅整備（建替等）  
の基本的な方針を伺う。

**町長**

指定管理者制度は、譲  
渡又は貸付も視野に入れ  
検討し、未利用財産も同  
様整理を進める。公営住  
宅は、建替え・用途廃止  
・個別改善計画からなる  
「町公営住宅等長寿命化  
計画」により計画的に進  
め、今後は福祉部門との  
連携も視野に検討する。

## 林業振興

### 林業振興の更なる施策を

### 町長／地域経済の浮揚に繋げる



川口 憲雄議員

**川口**

①町有林の施業・維持管  
理業務の委託の進捗状況  
とその効果は。  
②民有林の維持管理に行  
政の指導・育成対策は。  
また、多面的機能を生か  
し、更なる対策を講じて、  
災害防止・経済的效果に  
繋げる考えはないか。

**町長**

①平成26年度、国から森  
林経営計画の見直しを受  
け、1区域30ha以下の団  
地を設定した。公有林の  
監視巡視等、維持管理を  
北薩森林組合に委託、  
2ヶ月に1回報告を受け、  
今後の施業計画に生かし  
ていく。



維持管理業務が進められる町有林

②民有林では、水源涵養  
・災害防止策が図られる  
ように年間170haの間  
伐推進に努めている。  
森林を取り巻く環境は  
木材価格の低迷、林業採  
算性の悪化等、依然厳し  
い状況にある。支援策を  
通じて、少しでも地域経  
済の浮揚策に繋げていき  
たい。



## 無線施設

### 無線施設補助率の見直しを

町長／10年を節目に改定も検討



東 哲雄議員

併せて高齢化等による施設維持・管理面から10年目を節目として理解が得られるならば補助率の改定も検討して参りたい。

### 圃場の大区画化を

町長／要望があれば事業を導入

東

小規模の公民会は施設整備が厳しい状況にある。次年度より合併推進と合わせて補助率の見直しを行う考えはないか伺う。

町長

現在、整備率は82%となっている。まずは地域の活性化を目指した公民会合併を推進した中での制度活用を考えている。



役場の放送を受信する戸別受信機と公民会内へ放送を伝達する公民会設置の親機

東

本町は大区画化した圃場が少ない。大型機械による効率性の面から基盤整備（大区画化）を進めるべきと思うが考えを伺う。

町長

町内では大区画50aの整備面積はわずか13haである。大区画には、再度の圃場整備と畦畔を外して区画内で整地する方法があるが、畦畔を外す形が安価になる。ただ、地元の負担が必要となるので、要望があれば有利な事業を導入したい。

その他の質問

ダム公園跡地の活用策について

## 空き家の適正な管理を

町長／状況に応じて対応している

### 空家対策



岩元 涼一議員

岩元

廃屋同然の空き家は、周囲の住民や近隣地域に迷惑を及ぼしている。適正に管理するよう指導できないか。

町長

老朽化した空き家は倒壊の危険性や景観の悪化などの影響が懸念される。所有者には状況に応じた対応をしているが、今後ともこのような空き家が増えると思われるので、住民の安全や良好な生活環境を守るための方法を考えていきたい。

### 営農組織には支援が必要

町長／経営の分析や指導を実施



危険廃屋解体撤去事業により、解体撤去を計画している危険廃屋

岩元

営農組織の設立や法人化が進められているが、機械導入や施設整備に多額の投資が必要である。支援策を講じられないか。

町長

町内には現在3農業法人が組織され、1団体が法人化へ向けて活動している。この他に23の組織が農作業受託などを行っている。地域の営農に大きく寄与している。経営分析や指導を行いながら国・県の補助金を活用できるように情報の収集・提供に努めたい。



柏木 幸平議員

## 道路維持管理の対応を

町長／要望に追付かない現状

### 道路管理

柏木 高齢化や人口減により、町道等の草払いや伐採作業など地域での道路維持管理が年々難しくなっている。今後の対応を伺う。



通行に支障を来している法面の支障木

町長

伐採要望に素早く答えられないのが現状である。今後は、インフラ管理能力や財政能力に似合った道路管理の在り方や、地域の自主活動を推進する報奨金制度等助成金の創設。また、建設業者など民間企業等の活用などを視野に検討したい。

### ふるさと納税の推進

町長／課題の検討を進める

柏木

ふるさと納税の推進を図るため、各自治体ではさまざまな取り組みをされている。本町の取り組みと対策を伺う。

町長

本町の「ふるさと応援隊」の存在に感謝している。今後は、応援隊の会員数を増やすため、見やすいホームページの編集や納付方法の簡素化など課題を研究したい。また、寄付金の増額と特産品の宣伝効果が両面活かされるよう取り組みたい。

## 施設管理

### 公共施設の管理計画は

町長／方向性を検討



森山 大議員

森山

公共施設の管理計画についての進捗状況と見直しは。また、公共施設での水洗洋式化について伺う。

町長

施設の譲渡や廃止等も含めた管理のあり方について検討中である。現計画を基にし、その後さまざまな要因等も発生しうることから計画の見直しもある。特に高齢者の方々の利用が多い施設や、要望の高い施設を優先的に進めたい。

高齢者等の見守り活動は町長／支援体制の充実を図る

森山

「暮らし安心・地域支え合い事業」の課題・評価について、26年度で県の助成が廃止されたときに、町単独で継続する考えは。

町長

高齢者等が安心して暮らせる地域づくりを推進するため、町社協と連携し、地域の民生委員や係の方々と一緒に、高齢者等を支える事業で本年度は10地区を目標に推進している。今後も別の県単事業を継続しネットワーク作りを推進したい。



和式トイレが多い公共施設





宮之脇 尚美議員

## 保険対策

# 国保税の改定は

## 町長／国保税率の見直しを検討

宮之脇  
国民健康保険事業特別  
会計の基金が枯渇してい  
るが、今後必要な財源を  
どのように確保していく  
のか向う。



特定健診による問診の様子

町長

国民健康保険事業に係る国保税は、合併後10年間改定していない。一般会計からの繰出しにも限界があり、国保税の改定は避けて通れないと考えている。改定の時期・改定率等については、今後具体的に検討を進める。

### 財政計画の策定状況は

町長／国の動向を見極め策定する

宮之脇

来年度から地方交付税が減額される見通しとなっているが、これに伴う中、長期財政計画の策定状況について向う。

町長

来年度から普通交付税が段階的に減額されるが、これまでこれらを想定した財政運営を行ってきた。来年度からの中・長期財政計画については、国の地方財政計画が示されてから策定作業を進めていきたい。

## どうなった!!あなたの請願・陳情

2件の陳情を  
審査しました

### 継続審査

川内原発の拙速な再稼働に反対する陳情書

◎陳情者 ・さつま町広瀬870-1

外山 一正

### 継続審査

悪臭防止対策に関する陳情書

◎陳情者 ・さつま町虎居2144-2 虎居区公民館長

吉井 達也 他15名

## 平成26年8月臨時会

平成26年8月11日に臨時会が招集され、1日間の会期で開催されました。慎重に審議した結果、平成26年度さつま町一般会計補正予算(第2号)他1件の議案を原案のとおり可決しました。

### 一般会計補正予算(第2号)

(第2号)

#### ■回答■

今回の補正は、農業農村施設「平川郷」平川温泉水中ポンプ取替え修繕費134万円、農地・農業用施設災害復旧費404万円、林道施設災害復旧費590万円を追加するものです。

■質疑■  
平川温泉管理の水中ポンプの耐用年数と現在の利用客数の状況は。

水中ポンプは、平成6年に設置されて19年が経過している。耐用年数は確かめていないが、やはり経年劣化ということでは捉えている。利用状況については、年々利用客数が減少しており、平成24年度で1万809人、25年度が8527人で、1日当たり33人、28人という状況である。

さつま町消防本部高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材購入契約の締結について  
導入後14年を経過した高規格救急自動車及び資機材の購入契約に伴う議案で、2社による指名競争入札により執行されています。  
落札(契約)金額は、2934万3千6百円です。

# 議会活動



総務厚生常任委員会では「クオラバンピーノ」「宮之城ふくし園」等福祉施設の調査を行いました。(H26.8.19)



議会チームは予選1位で準決勝へ進出しましたが、残念ながら決勝進出は果たせませんでした。(H26.8.24)



文教経済常任委員会では始良中央家畜市場で開催された県畜産共進会で出品者への激励を行いました。(H26.9.27)



商工会役員と本町の商工業振興対策、商品券の町推進運動等に関する意見交換を行いました。(H26.10.22)



北薩横断道路(仮称:北薩トンネル内)



第9回議員期成会総会

第9回 国道504号さつま町・出水市区間改良整備促進議員期成会総会が10月27日に出水市で開催されました。現地調査のほか、総会では決議案(国道504号さつま町・出水市区間の整備促進と道路財源の確保について)を採択しました。

## 編集後記

今年も広島県の土砂災害や御嶽山の噴火、各地での風水害など自然は怖さを見せつけたが出水の鶴一陣は自然の優しさを受け取りたい。先日、川内原発審査説明会があり、絶対に安全と言い切れないとの説明。それにしても235名の参加者は少なすぎると思われ、もっと身近なことから捉え情報を共有し論じたいものであります。

ところで地元中津川区では長崎国体重量挙げの下原兄弟の優勝と入賞でオリンピック出場も夢ではないと沸いています。周囲の支えと並々ならぬ本人の努力の結晶を心から讃えたい。

わが町も10年の節目であります。今一度足元を見つめ11年目を踏み出そうではありませんか。

「町はみんなでつくるもの」先ずは郷土を愛し、町を愛することが基本だと私は思います。

(木下賢治)

## 議会広報特別委員会

委員長 木下 敬子  
副委員長 木下 賢治  
委員 米新丸 文作  
委員 丸改秀 武